

まんまるはーと月形町



旬の新鮮情報

月形町

年末年始号



新年明けましておめでとうございます!!

12月のこよみ

(大) 師走(しわす)

すべてのことを「為果す」月。

- 22日【冬至】一年で最も昼が短い
- 23日【天皇誕生日】
- 31日【年越し】

1月のこよみ

(大) 睦月(むつき)

むつみあう、つましくするという意味で、すべてのものが気持ちを寄せ合って新しい年を迎える月。

- 1日【元旦】年賀・初詣
- 5日【小寒】寒気がだんだん強くなる
- 7日【七草】七草を入れたお粥を食べる
- 11日【鏡開き】お供えした鏡モチを割って食べる
- 11日【成人式】
- 20日【大寒】ひどく寒いとき

12月の行事予定

- 25日 第11回理事会
- 30日 業務納め

1月の行事予定

- 6日 仕事始め
役職員新年交礼会
- 22日 第12回理事会





新年のご挨拶

代表理事組合長

水口裕行

平成二八年(二〇一六年)の初春を
ご家族皆様のご健勝で迎えられ
ましたことに農協役職員を代表し
まして、心からお祝いを申し上げます。

また、日頃よりJAの事業運営
に対しご支援ご協力を賜り厚くお
礼申し上げます。

昨年は、四月の前半には低気圧
の影響により気温も低く推移しま
したが、融雪も順調に進み天候も
概ね好転し、播種・定植など良好
に春耕期作業がスタートしました。

その後、六月下旬から七月上旬
にかけて低温で経過したものの、
八月上旬から中旬にかけて概ね高
温で推移したことにより、九月中
旬から下旬にかけては平均気温が
平年より高く推移しましたが、降
雨は平年より若干多く経過した事
により、一部の農作物・農作業に
影響が生じましたが、農作物全般
にわたり生育と集荷量は順調に推

移しました。

主要作物である水稲については、
肥培管理や防除対策など基本技術
の励行を徹底した結果、作況指数
は南空知一〇六と五年続けての豊
作となりました。

総もみ数が平年より多かつたこ
とに加え、登熟後、青米など未熟粒
が平年より少ない傾向となり、米
の供給過多などの影響により米価
は依然として厳しい情勢でありま
す。

花きについては、前半は厳しい
価格推移でありましたが、その後、
相場も回復し平均単価もアップし
前年並みの販売取扱高となり、果
菜類については、作付面積の減少
などもあり取扱量は減少したもの
の、ケース平均単価アップにより
前年並みの販売取扱高となりまし
た。

小麦は雪腐病による被害も少な
く収量・品質とも過去最高の収穫

量となり、大豆については播種が
順調で出芽もおおむね良好となり、
その後の生育も順調に推移し、収
穫作業も平年並に終了し収穫量は
平年並を確保出来ました。

一方、農業を取り巻く環境は、日
本の将来に関する重要課題である
環太平洋連携協定(TPP)が大筋
合意され、組合員は将来への大き
な不安と政府に対する強い不信・
憤りを抱いております。

聖域とされた重要五品目につい
ても約三割しか守れず関税緩和と
なるなど、我が国において、かつて
ない農畜産物市場の開放がなされ、
その他の農産物についても段階的
な関税撤廃措置撤廃に先行き不透
明な情勢であり、今後の成り行き
を注視する必要がありますし、生
産現場では農業経営の将来展望が
描けない、担い手や後継者の経営
承継に大きな影響と経営基盤の弱
体化が懸念されます。

農家の所得増大に結びつく農業
政策を早急に示すべきであり、政
府には農家目線に立った認識をし
てもらう必要があります。

これから十年・二十年先を考え
ると所得補償対策いかによって
は非常に厳しい農業経営を強いら
れる状況にあります。JAとし
ての役割を果たすべく役員一体

となって努力して参りますのでご
協力をお願いいたします。

組合員・ご家族のご健勝とご多
幸を心よりご祈念申し上げます。二〇
一六年が良い年でありますよう新
年にあたってのご挨拶といたしま
す。

代表理事組合長	水口裕行
専務理事	阿部憲二
常務理事	村瀬昇
理事	山本博幸
理事	中嶋雅義
理事	中條秀雄
代表監事	平尾元一
監事	柳彰憲
外監事	伊藤隆之





新年にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

平成二八年の年頭にあたり

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の北海道農業は、一部地域において暴風雨被害が発生するなどの影響がありました。全体的にはおおむね順調な作柄となりました。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

さて、昨年の十一月十一日に、組合員やJA役職員等、関係者の方々の参加のもと、第二十八回JA北海道大会が開催されたところです。

「北海道五五〇万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」をメインテーマとして、向こう三か年にわたるJAグループ北海道の対応方針を確認いただきました。

組合員・JA・連合会・中央会が、各役割を再確認した中で、JAグループ北海道の英知を結集し、基本目標の達成に向け取り組んでいくとともに、北海道五五〇万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指すこととしております。

関係各位の特段なるご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

平成二七年は、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意など、我が国の農業・JAにとつて極めて大きな情勢変化があった一年でした。

農協改革については、その主要な目的でもある法改正と農業所得向上の関連性などについて、いまだに十分な理解が進まない中、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件が今後の検討課題となっており、改めて地域農業の振興や農協経営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含

め、関連する取組みを進めていく必要があります。

一方、TPP交渉に関しては、交渉参加十二か国の閣僚会合を経て、昨年の十月五日に大筋合意がなされましたが、守秘義務を盾に交渉に関する情報開示や国民的議論がないままに、大筋合意という結果に至ったことに対して、強い憤りを覚えるところであります。

今後、通常国会においてTPP交渉に係る国会審議がなされる予定ですが、改めて、政府並びに各国会議員に対して、今回の合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性について十分な説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応がなされるよう強く求めていく必要があります。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

我々農業者・JAグループはその責任感と自負心のもと、改めて協同の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていくとともに、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る取組みを積極的に進めながら、長年にわたり先人が築き上げてきた北海道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ、後世に継承するよう、ともに頑張ろうではありませんか。

今年（さるどし）の干支は申年（さるどし）です。

一説には、申は、伸ばすという意味があり、「草木が十分に伸び、実が成熟していく時期」を表しているとのことでもあります。

今年（さるどし）は、この申年にあやかり、天候に恵まれ実り多い充実した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



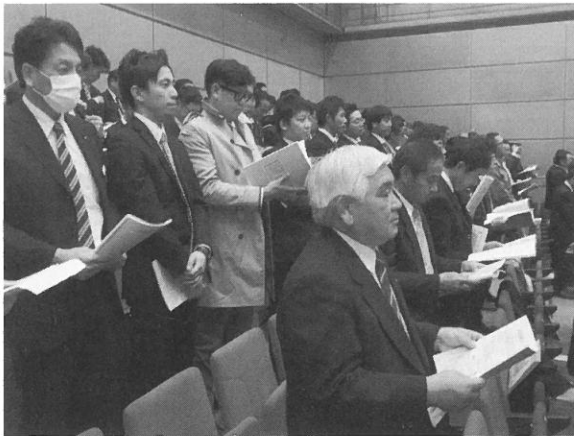
第二八回 J A北海道大会



J Aグループ北海道による第二八回J A北海道大会が十一月十一日、札幌市に於いて開催されました。この大会は三年に一度開催されており、当J Aからは青年部・女性部・役員等一八名が参加しました。来賓代表の祝辞では高橋はるみ北海道知事などが挨拶し、T P P大筋合意による北海道の農業や経済に対する影響について強い懸念を示し、J Aグループとの連携を深め、

農業の活性化に取り組む意向を表明しました。

本大会ではJ A・中央会・連合会関係者など約二三〇〇人が参加し、メインテーマである「北海道五五〇万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現に向けて結集することが採択され、また、特別決議として「T P Pから北海道農業・農村及び国民の命と暮らしを守る」が採択され閉会となりました。



各生産組合 平成27年度出荷反省会

11月17日に月形蔬菜生産組合、11月26日に月形花き生産組合、12月5日に月形ミニトマト生産組合の出荷反省会がそれぞれ生産者を集い行われました。反省会では、J A担当者による本年度の出荷状況や販売額などの報告に続き、現状を踏まえたうえで、今後の方向性など次年度に向けた意見交換が生産者、市場関係者、当農協職員にて行われました。



月形蔬菜生産組合



月形花き生産組合



月形ミニトマト生産組合

空知農民連合 書記長・書記次長・事務局研修報告

月形町農民連盟 書記次長 山田 綾 一

空知農民連合の書記長・書記次長・事務局研修が、参加者34名で山陰・山陽地方にて11月4日～7日の3泊4日の日程で実施されました。この期間は天候に恵まれ、連日気温が20℃に達し、非常に過ごしやすい中での研修となりました。

初日は、新千歳空港から羽田空港を經由して出雲縁結び空港に到着し、昼食をとった後、視察場所である島根県松江市の中海（なかうみ）干拓の揖屋（いや）地区に向かいました。

中海では1963年に食料増産を目的とした大規模干拓および淡水化事業（国営中海土地改良事業）が始まりました。1989年に揖屋地区、安来地区、弓浜地区が、1993年には彦名地区の干拓が完成しますが、本庄地区は2000年に干拓中止となり、2002年には淡水化事業も中止となりました。

干拓地は中海を干し上げて造られているために中海の水位より低く、干拓地全体が水浸しにならないように干拓地や周辺からの水を常にポンプで排水しているそうです。

揖屋地区の干拓面積は323.2ha、農地の面積は197haあり、キャベツを主要農産物とし、他にブロッコリーや津田かぶ等が作付されています。営農推進上の課題として、農地の利用率が7割強にとどまり、営農者の高齢化を要因とする作付休閑地が多くみられるそうです。JAを中心に新規就農者確保のための研修事業を実施しており、若干ですが新規就農者も増えているとのことでした。

初めに松江の名産である津田かぶ生産者の農場を見学させていただきました。津田かぶは通常のかぶとは形が異なり、勾玉のような形が特徴の赤いかぶです。主に漬物に利用され、今回見学させてもらった農場では契約栽培で松江市内などの漬物屋さんなどに卸しているとのことでした。

次に（有）アースファームの農場を見学させていただきました。この農場では生ごみを原料とした液体肥料のみを使い、ミニトマトやブロッコリー、ししとう、里芋などを生産しています。その液体肥料を製造しているのが産業廃棄物処理を主な業務としたアースサポート（株）という会社で、（有）アースファームはその関連会社です。

アースサポート（株）では収集した食品残渣から液体肥料を製造します。（有）アースファームではその液体肥料を使って野菜を生産し、スーパー等で販売します。販売先で出た食品残渣を回収して液体肥料にすることでリサイクルが成り立ち、環境にやさしい農業を実践しているそうです。

また、無農薬栽培にこだわっており、除草や防虫も人手で行っているため時には病害虫による大きな被害もあるそうです。障がい者の就労支援にも取り組んでおり、5名の障がい者が農作業に従事しているそうです。

農場見学の後に液体肥料の製造現場も見学してもらいました。

今回の中海干拓揖屋地区の視察は予定時間を超えるほどの熱心な研修となり、研鑽を深めました。

視察の後、初日の宿泊場所である玉造温泉に向かいました。

2日目は、縁結びで知られる出雲大社を参拝しました。午後には2015年7月に国宝に指定されたばかりの松江城を見学し、その後松江城の堀川めぐりをしました。その後水木しげる記念館を見学し、宿泊先である皆生温泉に向かいました。

3日目は、広島県呉市に移動し、大和ミュージアムを見学した後、広島市内の平和記念公園に行き、原爆ドームや原爆資料館を見学しました。

4日目は、宮島の厳島神社を参拝しました。その後広島空港から羽田空港を經由して北海道に帰ってきました。

今回の研修では、干拓地という我々が農業を営む地域とは違った環境での農業を視察することで知見を広められ、また各市町組織の方々との親交を深めて意見交換でき、大変有意義な経験となりました。今回貴重な経験と勉強をさせて頂きました空知農民連合をはじめ関係各位の皆様には感謝とお礼を申し上げます。





JA月形町青年部 道内視察研修

JA月形町青年部(岩崎貞治部長)は11月27日、部員13名参加のもと日帰りの視察研修を実施しました。

今回の視察研修先は由仁町にある北海道ニプロ(株)工場で、耕起用・代掻き用ロータリーの製作現場を見学後、映像での商品説明が行われました。

北海道ニプロ(株)見学の後にホクレンくるるの杜に移動し、農産物直売所を見学して視察研修会を終了しました。

短期JA現地研修を終えて

「現場力」の充実を図るため、当JAで研修を行っていた北海道信連岩見沢支所の有塚利樹さんが12月4日をもって2カ月の研修期間を終えました。

有塚氏にはこれからも益々のご活躍をご祈念申し上げます。

有塚氏より コメント

JAカードや年金推進時の際にはご協力有難う御座いました。2カ月間と短い期間でしたが、大変お世話になりました。



JA 配置薬からのお知らせ

近畿大学
近大サマリ
近大サマリ



近畿大学 薬学部 薬用資源学研究室の研究成果・知的財産から生み出された近大サマリです。



大阪府知財顕彰事業 グランプリ受賞!!

株式会社ア・ファーマ近大は、大阪府で大学等の研究機関の特許権を活用した企業に対し、研究や社会貢献等を評価し、表彰する事業が行われています。当社は、2013年度のグランプリ企業に選ばれました。

黒しょうが Black Ginger

黒しょうがは、タイ原産のショウガ科 *Kaempferia* 属の植物です。昔から「神様からの贈り物」として珍重されてきました。近畿大学薬学部薬用資源学研究室の研究にて、メトキシフラボンなどを多く含むことが明らかにされています。



メトキシフラボン

メトキシフラボンは、フラボノイドの一種で、「黒しょうが」に多く含まれる機能性成分です。黒しょうがには、ペンタメトキシフラボンなど約10種類のメトキシフラボンが含まれています。



黒にんにく Black Garlic

黒にんにくは、世界中で食されている「にんにく」を発酵熟成して作り上げた健康素材です。

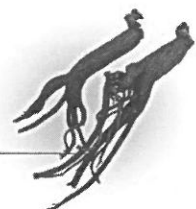


ウコン Turmeric

ウコンは、アジア各地で古くから知られてきた植物です。日本でも近年、健康素材として親しまれています。

紅参 Korean Red Ginseng

紅参(紅人参エキス)は、皮ごと蒸して乾燥した高麗人参です。昔から高麗人参の中でも、特に貴重な健康素材として珍重されています。



乾姜 Zingiber siccatum

乾姜(香辛料抽出物)は、「しょうが」を蒸して乾燥した健康素材です。「古事記」にも記述があり、古くから日本人に親しまれてきました。

商品のお求め、お問い合わせは
武部 康代 推進員
までお願いします

理事会だより

第十回 理事会議案

(十二月二十六日開催)

ん菜・なたね)の設定について

付議第五号 出資金減口の承認について

報告第四号 資産査定要領等の改正について

て

付議第六号 農地流動化特別対策資金の貸付について

金の貸付について

報告第五号 農業者戸別所得補償制度に係る仮渡金実要領第四条対応期間等の要件設定について

協議第一号 ホクレン月形給油所のJ

報告第六号 平成二十七年産米・大豆の

付議第二号 平成二八年度対策組合員の

AOC共同配送(案)について

集荷・調整・検査入庫状況及び集荷販売状況について

の対応方針(案)について

報告第二号 平成二十七年十月末現在組合員の動向について

報告第七号 平成二十七年産米第三回(十一月末)購買品現品棚卸しの実施について

付議第二号 理事に対する貸付について

財務状況について

報告第二号 平成二十七年十月末現在

て

付議第三号 平成二十七年度給与規定

報告第三号 平成二十七年十月末現在

にかかる年末手当の支給について

事業計画・実績対比について

付議第四号 農畜産物取扱手数料(て

こんにちは農民連盟

-11月-

- 2日 盟友 齋藤 武志氏家族葬儀
副委員長 参列
- 4日 書記長、書記次長、事務局研修
(7日まで) 書記長・次長
- 14日 TPPについての懇談会 四役
- 18日 2015年全道書記長・書記次長・
事務担当者研修会
書記長・次長
- 19日 南ブロック委員長・副委員長研
修会(20日まで)
委員長・副委員長
- 20日 第5回(拡大)執行委員会
税担当者会議 四役
- 26日 中間監査・常任委員会 役員
TPP「合意」内容の徹底した情
報公開と検証を求める意見書
提出 委員長
役員研修会 常任委員



好評です！ 研修や学習会での参考テキストに 今、知っておきたい「私たちのJAのこと」

家の光協会ではJA=協同組合のことを多くの人に理解してもらい、運営に参加してもらうためにJAの課題や将来の方向性をわかりやすくお伝えする書籍をそろえています。どれも短時間でポイントがわかるようにまとめられたブックレットなので、色々な場面で活用できます。

これからの研修会や集落座談会、理解促進のための配布用資料などでぜひご活用ください！



振り返って (広報誌より)

2月

各講習会 実施



メロン・トマト栽培講習会



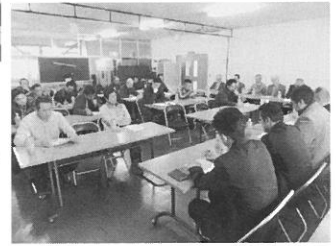
月形町和牛振興協議会
講習会

1月

各生産組合 通常総会



月形花き生産組合



月形蔬菜生産組合

4月

第67回
JA月形町通常総会

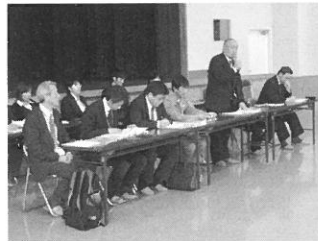


会場 多目的研修センター



3月

平成27年度
農業関係制度等説明会



会場 多目的研修センター



6月

月形町小麦大豆講習会

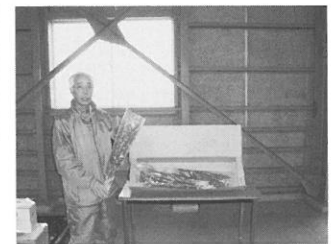


5月

北海カンロ、花き出荷開始



横井 広実 氏



(有)後藤農園 氏

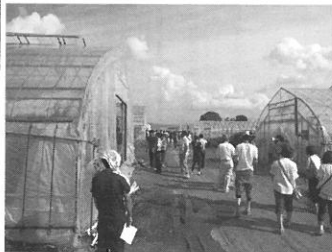
どうぞ輝かしい新春をJA共済・JAバンクと共に迎えてみてはいかがでしょうか。
みなさまのご来店をお待ち申し上げます。

平成27年巻

8月 北海道花き生産連合会現地研修会



会場 多目的研修センター



7月 ビール祭り つきがた夏祭り



JA月形町&
㈱エーコープつきがた
ビール祭り

つきがた夏祭り



10月 大豆 収穫作業スタート 農薬容器回収



上葛泰隆 氏 ほ場



農薬容器回収

9月 観賞用かぼちゃ出荷 平成27年度産米 出荷始まる



観賞用かぼちゃ 出荷



伊藤 格 氏

12月 JA月形町青年部 研修旅行



工場見学

集合写真



11月 第28回 JA北海道大会

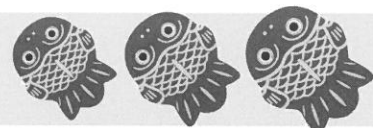


会場
札幌コンベンションセンター



JA月形町共済窓口 (電話 53-3421)

JA月形町貯金窓口 (電話 53-3422)



謹賀新年

本年も役職員一同よろしくお願い申し上げます。



代表理事組合長

専務理事

常務理事

理事

理事

理事

代理監事

監事

員外監事

〈管理部〉

管理部長

総務課長(兼総務係長)

総務係(出納)

総務係(庶務)

総務係

〈監査室〉

監査室長

〈金融部〉

金融部長

融資課長

水口裕行

阿部憲二

村瀬昇

山本博幸

中嶋雅義

中條秀雄

平尾元一

柳尾彰憲

伊藤隆之

佐藤隆之

伊藤智子

山崎絵理

横山朋枝

阿部汐里

青野智功

桶谷智子

宮崎尚幸

西野宏希

佐々木正美

〈業務部〉

業務部長(兼営農推進課長)

農産販売課長

営農推進係長

営農推進係

農産園芸係長

農産園芸係

(花き)

融資係長

融資係

貯金共済課長

貯金共済係長

貯金共済係

(貯金)

(共済)

山岡里美

吉田政明

西田和然

真保佳幸

土井真夕美

坂本恵

佐藤昭洋

岩崎千鶴

植松彰

河原芳一

堀原愉生

稲垣幸一

藤井優

横田竜平

横道竜司

小川竜太

百澤奈菜

石澤奈菜

(農産)

米麦係

米麦係

米麦係

(こめ工房)

(倉庫)

資材係長

資材係長

資材係長

資材係長

資材係長

給油所係長

給油所係長

給油所係長

山田和代

三枝良弥

伊藤真時

丸山富雄

辻山裕哉

山本良一

青柳克彦

松川守彦

伊藤圭二

佐藤英直

笠間幸雄

加藤登志江

佐藤武美

戸田侑斗

藤原直人

石綿裕彦

本間直也

加勢彩香

上野剛

(農協青年部)

部 長	副 部 長	副 部 長	会 計 理 事	営 農 理 事	農 政 理 事	代 表 監 事	監 事	参 与
岩 崎 貞 治	長 瀬 弘 典	残 間 保	井 上 和 樹	刈 田 宗 彰	大 江 圭 輔	永 井 佑 樹	川 口 拓 也	佐 藤 達 也

(農協女性部)

部 長	副 部 長	代 表 監 事	監 事
福 井 百 合 子	田 畠 弘 恵	中 村 三 賀 子	青 柳 千 恵



(月形町農民連盟)

委 員 長	副 委 員 長	書 記 長	書 記 次 長	税 対 長	農 政	代 表 監 事	監 事
金 山 伸 吾	我 妻 耕	河 原 徹	山 田 綾 一	齋 藤 武 志	渡 辺 建 一	石 森 誠	山 崎 琢 真
							松 本 秀 樹
							常 本 勉

(月形花き生産組合)

組 合 長	副 組 合 長(兼)スターチス部会長	副 組 合 長(兼)ユリ部会長	会 計 書 記	カーネーション部会長	デルフィニウム部会長	草 花 部 会 長	監 事
青 柳 俊 治	鈴 木 孝 博	渡 辺 訓 広	本 田 了	山 田 肇	渡 辺 祥 紀	野 崎 大 輔	山 崎 敏 美
							直 浩 亨

(月形蔬菜生産組合)

組 合 長	副 組 合 長(兼)南瓜部会長	副 組 合 長(兼)果菜部会長	副 組 合 長(兼)トマト部会長	会 計	役 員	監 事	
植 松 博 幸	米 林 信 廣	小 林 衡	加 藤 隆 行	石 森 誠	滝 沢 剛	岡 尚 志	
							永 井 宗 壹
							内 藤 康 志

(月形ミニトマト生産組合)

組 合 長	副 組 合 長	会 計	監 事
横 井 政 美	坂 下 彰	一 柳 和 彦	板 井 道 雄



J A月形町年末年始営業時間のお知らせ

年	日付		一般業務	共 済	貯 金		ホクレン給油所	エーコープ	
	月	日			窓 口	A T M			
27	12	30	8:30 ~ 17:15	8:30 ~ 17:30	9:00 ~ 16:00	8:45 ~ 17:30	8:00 ~ 17:30	9:00 ~ 18:00	
			年末大掃除 16:00 ~						
		31	休 業						9:00 ~ 15:00
28	1	1	休 業						
		2	休 業						10:00 ~ 14:00
		3	休 業					8:00 ~ 17:30	休 業
		4	休 業	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 15:00	8:45 ~ 17:00	休 業	休 業	
		5	休 業	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 15:00	8:45 ~ 17:00	休 業	9:00 ~ 15:00	
		6	8:30 ~ 17:15	8:45 ~ 17:30	9:00 ~ 16:00	8:45 ~ 17:30	8:00 ~ 17:30	9:00 ~ 18:00	
		7	8:30 ~ 17:15	8:30 ~ 17:30	9:00 ~ 16:00	8:45 ~ 17:30	8:00 ~ 18:00	9:00 ~ 18:00	
1月7日(木)以降全業務平常営業									